

H28年 熊本地震復興支援

2016年4月14日午後9時26分ごろ、九州地方を震源とするマグニチュード6.4の地震が発生しました。さらに、その28時間後の4月16日1時25分頃にも、同じく熊本県熊本地方を震源とする、マグニチュード7.3の地震が発生し、最大震度7が観測されました。私たちの住む天草もかつてない揺れを感じ、津波警報のニュースに全神経を尖らせ非難の準備をしました。翌日から3日間予定されていた牛深ハイヤ祭りは全工程が中止となりました。運よく今日まで津波はありませんが益城、阿蘇などの被害の様子を見ると多大な被害に心が痛みます。

「魚貫崎の自然と文化を守り伝える会」ではいまだ避難所で過ごしている方々、特に子供たちの笑顔を少しでも取り戻すお手伝いができないものかと考え、内陸の海のない地域に「天草の海」を届けるお手伝いをすることにしました。内容は、ブルーシートの海に美しい魚貫崎の砂や貝殻、流木、海外から流れ着いた漂着物などをもって行って疑似ビーチコーミング。ブルーシートの砂浜で拾った貝殻や流木と段ボールを使った写真立て作り。貝殻のおはじき。貝笛。ダイビング機材や水中写真の展示。シーカヤックの展示などです。様々な方々の協力を得ながらのお手伝いですが海を題材に、内陸の子供たちと遊び癒される時間、空間を作ってまいります。

日時：6月11日13時～16時半・12日10時～12時
場所：阿蘇市波野 なみのやすらぎ交流館

こちらの様子は次回の魚貫崎タイムスでご報告させていただきます！



「天草の海を被災地の子供たちに届けます！」

コバルトの海でお試し移住 2016・夏 参加者募集！

移住考えているんだけど.....。天草ってどんなところ？魚貫崎（おにきざき）って？海辺の暮らししてみたいなあ。仕事ってあるのかなあ。そんなあなたにお知らせです！魚貫崎の自然と文化を守り伝える会では、魚貫崎の自然と文化を生業にするために頑張っています。この夏、そのお手伝いをさせていただきながら海辺での暮らしを体験してみたい方を募集いたします。あなたの理想とするライフスタイルとあなたの得意なことを発揮できるお試し移住が待っています。詳しくは、下記までどうぞ！

Mail : bluenanatu@yahoo.co.jp
携帯 : 090-8767-9722(武田)



発行年月日
2016年6月1日

発行責任者
魚貫崎の自然と文化を守り伝える会
会長 大西一元

お知らせ

新聞購読ご希望の方はご連絡ください。郵送いたします
連絡先 魚貫崎の自然と文化を守り伝える会
863-1721 熊本県天草市魚貫町4688-1
事務局 0969-72-8821 担当 武田



VOL5

魚貫崎タイムス

魚貫崎フットパスプロジェクト

「フットパス」の取り組みについて、NHKより取材を受けました。魚貫崎コースの良さは、里海里山の暮らしと密着していることです。地域のお母さんたちが大切にしている「農園」に漂着物で作った看板がコース内に4か所(6月1日現在)あります。スイカの赤ちゃんや夏野菜の苗が夏の日差しを待っていました。



優勝目指して！ 池田イキイキクラブ

第10回ふれあいきいきサロン交流大会西ブロック(牛深・天草・河浦)が6月18日(土曜日)に開催されます。参加者600名という大きな大会ですが昨年池田いきいきサロンメンバーはなんと、マメ運び競技で優勝という頑張りでした！今年も連覇を目指し、日々特訓の皆さんです。体操の後練習中をお邪魔させていただきました。頑張ってください～～～い！

魚貫崎の生き物達



ベニトンボ

成虫が見られる期間は、6月～10月頃まで？ 熱帯系のトンボであったが、その後北上を始め2000年頃から九州でも確認されているが、どれほど定着しているかは不明。熊本県では2007年頃水俣市で確認されている。池田池では2015年6月12日に成熟した雄1個体を、8月21日には雌も確認した。雄は成熟すると全体がショウジョウトンボと同様赤くなるが、色は金属光沢の濃い赤紫となり、翅までその色が広がっている。日光の反射の角度によっては紫紅色にも輝く。



シオカラトンボ

成虫が見られる期間は4月～10月頃まで。最も普通に見られるトンボの一種。雄は成熟すると胸や腹部の後3分の1ほどを黒色に残して蒼白色になる。雌は腹部が麦わら色に黒色模様が入るため、ムギワラトンボと呼ばれていた。



ヌマガエル

水田などに普通に見られるカエルで、背面は灰褐色から暗褐色。水田で盛んに鳴いている。背面に不揃いの隆条が多数入り、その間には大小の顆粒が散在する。背中中央に背中線が縦に出る個体が多い。



ニホンイモリ
(アカハライモリ)

日本固有種で近年その生息が減少している。腹面は赤く不規則な黒斑があるが、その模様は様々である。繁殖期になると、オスには青紫色の婚姻色があられ、非常にきれいな色になる。

(協力:天草自然研究会 吉崎和美様)

魚貫崎の旬 クロクチ



クロクチ貝

磯にはびっしりとクロクチの絨毯。潮が引くのを待って今夜のビールのつまみを探りに行くのだが、魚貫崎は目の前が新鮮な市場。

誰もが少しだけ海の幸を必要な分だけ頂く。スローな生活での最高の贅沢。食べ方としては塩ゆでがポピュラーだが、みそ汁に入れたり、パスタの具材としても最高。黒い2枚貝でイガイの仲間。ムール貝の一種らしい。

旬は、4月から5月。梅雨前まで食する。今年もあと少しの期間楽しめそう。
(取材協力:池田哲也)

編集後記

初めて経験したマグニチュード7.3
これで津波が起きていたらと考えるとぞっと
します。地域防災について考えないと！！

